

令和5年度 第1回

長岡市水族博物館協議会 資料

■ 令和4年度事業実施状況	1
■ 観覧者数及び観覧料収入の推移	7
■ 中学生以下無料キャンペーン実施結果	8

令和4年度事業実施状況について

1 事業概要

寺泊水族博物館では、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら、館内の消毒や換気、アルコール消毒液の設置等、感染予防対策に努めながら、運営を行った。

過去2年間中止していた熱中！感動！夢づくり教育推進事業や普及活動、催しについては、新型コロナウイルス感染状況を見ながら参加人数を減らすなどして6月以降は実施した。

2 新型コロナウイルス感染予防対策

・手指消毒用アルコールの設置

入口をはじめ各階にそれぞれ設置した。

・館内の消毒

アルコールや次亜塩素酸ナトリウム（0.05%に希釈）を使用し、トイレの扉、ドアノブ、便座、蛇口、手すり、エレベーターのボタン等の消毒を実施した（1日3回）。

・換気

1階から4階の出入り口、非常口、排煙窓等13か所を適宜開放した。

・職員の感染症予防対策

国（厚生労働省）が示す「マスク着用の考え方」を基本に、こまめな手洗い、飼育室等の消毒、掃除の徹底を図った。

・来館者に対し、「感染予防のための協力をお願い」を掲示（入口及びホームページ）

・繁忙期における混雑（密集）回避対策

夏季等の繁忙期における館内の混雑（密集）を避けるため、新しく運用を始めた館のホームページに現在の入館者数を表示した。

・外トイレ手洗いの自動水栓化

・今まで使用していたA I 体温感知カメラについては、夏季期間の誤作動が頻繁に発生するため、周囲の温度に応じて補正する機能があるA I 体温測定器を新たに設置した。

3 鳥インフルエンザ対策

今冬、新潟県内で相次いで発生した高病原性鳥インフルエンザ対策として、「鳥インフルエンザ発生時（水族博物館・小動物園）における緊急連絡体制」や「市有施設における高病原性鳥インフルエンザ対応指針」を作成するとともに、館内においては、例年どおり11月からペンギンプールに野鳥飛来防止のネットを張り、玄関、ペンギンプール周辺の消毒や出入り口に消毒マットを設置した。

4 誘客宣伝事業

- ・特別展示や新しい展示、催し等の都度、マスメディアへ向けた情報発信、情報提供を積極的に行い、話題あふれる活動、事業を展開し、新聞等に掲載された。
- ・リピーター増加対策として、「観覧料割引券付きレシートによる割引」を本年度も引き続き実施している。本年度、割引券付きレシートを利用した観覧者数は合計で2,307人で、対前年比26.7%の増加であった。さらに、リピーター増加対策を強化するため、レシート割引と併せてスタンプカードも引き続き発行している。令和4年度においてスタンプカード特典を受けた来館者は延べ1,477人（内訳：5回1,138人、7回277人、10回62人）で、対前年比228%の増加であった。
- ・冬季の観覧者増加対策として「中学生以下観覧料無料キャンペーン」を継続して実施している。（令和5年1月7日～2月28日）期間中の入館者数は9,806人で、行動制限緩和の影響もあり令和3年度と比較して大幅に増加した。

5 活動事業

（1）熱中！感動！夢づくり教育推進事業

① 「親子わくわく魚ランド」の実施

水族博物館の舞台裏の見学やミズダコやピラニアなどの飼育生物の餌作り、餌やり体験をととして、水族館の仕組みや水生生物の行動などを観察した。

・夏 季：令和4年7月26日～8月30日までの毎週火曜日（4回）

・秋 季：令和4年9月4日～11月13日までの毎週日曜日（7回）

当日入館された親子を対象に、1回あたり3組6名程度として実施した。

月 日	参 加 人 数			月 日	参 加 人 数		
	大 人	こども	計		大 人	こども	計
7月26日(火)	3人	4人	7人	9月25日(日)	4人	5人	9人
8月9日(火)	3人	4人	7人	10月2日(日)	3人	3人	6人
8月16日(火)	4人	7人	11人	10月9日(日)	1人	1人	2人
8月30日(火)	2人	1人	3人	10月30日(日)	4人	4人	8人
9月4日(日)	6人	4人	10人	11月13日(日)	4人	6人	10人
9月11日(日)	4人	5人	9人	計	38人	44人	82人

② 「移動水族博物館」の実施

水生生物の飼育体験をととし、生物の生態等を観察することで、生物に対する興味や接し方、観察力の育成を図ることを目的に実施した。

・実施状況

学 校 名	期 間	参加児童数	飼 育 生 物
才津小学校	6月13日 ～7月20日	1年生 14人	カクレクマノミ・ルリスズメ
中之島中央小学校	9月26日 ～11月10日	2年生 64人	カクレクマノミ・デバスズメダイ

(2) 体験展示・企画展の開催

① 体験展示

※新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

計 画

タイトル：魚のお医者さん・ガラルファ(ドクターフィッシュ)で足湯体験

期 間：令和4年7月2日(土)～9月25日(日)

内 容：多くの方に話題を提供し、水生生物に対する興味や関心を深め、水生生物との触れあいを目的に、水槽に手を入れると皮ふの角質を食べてくれる魚・ガラルファにスポットを当て、水深の浅い大型水槽で足湯をするとガラルファが吸い付いて、肌をきれいにしてくれる体験型の特別展示を実施する。体験をとおしてガラルファの生態の不思議さに関心を深めてもらう。

展示魚類：ガラルファ 800尾

場 所：2階タッチプール

② 企画展

・「外来生物って本当にわるものなの？」

期 間：令和4年8月20日(土)～10月31日(月)

内 容：近年、一般市民の間でも「外来種」という認知度が高まる一方で、具体的な外来生物との向き合い方は正しく周知されているとは言えない。そのような状況の中、外来生物の代表であるアメリカザリガニ、アカミミガメの取り扱いに関する新たな規制が環境省で検討されており、一人一人が正しい知識をより一層身につけることが急務となっている。

本企画展では身近な外来生物とその問題点の紹介を主にペットを含めた生物の付き合い方を学び、理解してもらえよう企画展を開催した。

場 所：1階 大回遊水槽前

③ クリスマス特集：サンタエビ（アカシマシラヒゲエビ・ホワイトソックス）の展示

11月26日(土)～12月25日(日)

④ 2023年の干支にちなんだ生き物：ウミウサギ（貝）の展示

12月24日(土)～2月28日(火)

(3) 普及活動・催しの実施

① 水生生物探索会

長岡市の自然環境の中で生息している水生生物の探索体験や水辺の環境観察などをおして、親子に水生生物、自然環境への関心、理解を深めてもらった。

・タツノオトシゴを探そう！日本海体験

実施日：令和4年7月24日(日)、31(日)、8月7日(日)、21日(日)

参加人数：小学生26人 保護者25人

・ビーチコーミング・日本海体験

実施日：令和4年10月23日(日)、11月6日(日)、27日(日)

参加人数：小学生5人 保護者6人

② 動物ふれあい教室

・サメにドキドキタッチ(ガイドツアー)

※新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

計 画

水族博物館で飼育している小型のサメに触れてもらい、サメ肌の体験などをおしてサメの繁殖、生態についてわかりやすく解説する。

令和4年4月16日(土)～6月19日(日)までの毎週土・日及び祝日(24回実施予定)

・ケヅメリクガメと遊ぼう

水族博物館の屋外で体重20kg、甲長60cmのケヅメリクガメにクローバーなどの給餌体験をしたり、カメについてのクイズに挑戦してもらい、ウミガメ、リクガメ、淡水性のカメについてわかりやすく解説した。

令和4年7月9日(土)～9月25日(日)までの毎週土・日及び祝日(15回実施)

参加者：小人132人 大人150人 計282人

③ ダイバーによる餌付けショー

実施している餌付けショーについて、観覧者にさらに喜んでもらえるように、餌のやり方を変えてみるなど、観覧者の反応を見ながらショーの内容が魅力的となるよう努めた。また、クリスマスシーズンには恒例のサンタダイバー(11月26日～12月25日)を実施した。

④ スポット解説

※新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。

積極的に係員が来館者に声かけを行い、希望者に飼育生物の解説を10分程度行う。

⑤ 出張展示・講師派遣の協力

各支所地域の産業祭り等や保育園、小学校の依頼により、タッチプール、リクガメ等の出張展示や講師派遣に協力した。

- ・ 6月18日(土) 寺泊地域図書館（ビーチコーミング講師派遣）
- ・ 7月4日(月) 大河津小学校（生物調査講師派遣）
- ・ 7月9日(土) てらどまり若者会議・波音（水生生物探索会講師派遣）
- ・ 7月15日(金) 寺泊小学校（ビーチコーミング講師派遣）
- ・ 7月31日(日) 寺泊総合型スポーツクラブ（水生生物解説講師派遣）
- ・ 10月2日(日) 寺泊商工会（寺泊縁日祭：ケヅメリクガメ出張展示）

⑥ 大人限定水族博物館バックヤードツアー

大人を対象にした水族博物館バックヤードツアーで、水族館の仕組みや活動を紹介したり、水生生物の生態、日本海の生物、環境問題等を解説と体験をとおして、長岡の自然や生物についての理解や興味を深めてもらうことを目的として実施した。

令和4年6月から毎月第三日曜日（8月を除く、7回実施）

参加者：大人29人（令和5年1月現在）

（4）調査研究活動

- ・ ホトケドジョウ生息調査（長岡市内 6月）
- ・ シナイモツゴ生息調査（長岡市内 6月）
- ・ モリアオガエル生息調査（長岡市内 6月）
- ・ 漂着生物調査（寺泊の各海岸 周年）

（5）職場体験・総合学習等の受入れ

※新型コロナウイルス感染予防のため、受け入れ中止とした。

（6）博物館実習生・学外実習生の受入れ

日本自然環境専門学校 1人 12月17日(土)～23日(金)

(7) 裏方探検及び魚に関する相談

子供会などの団体の裏方見学や魚に関する相談は逐次対応した。

(8) 水族博物館の魅力向上のための取り組み

① 水族博物館オリジナルグッズの製作と頒布

現在、3階にある売店（西山製菓）の営業日数は年間約150日と一年の半分ほどしかなく、また、来館者からオリジナルグッズ販売の希望が寄せられているため、水族博物館の新しい魅力の創出、歳入確保の観点から、券売窓口のとなりでオリジナルグッズの展示と販売を種類を増やして継続している。（ハンカチ、ミニトートバック、エコバック、マグネット、ふせん、クリアファイル、ペーパークラフト等を販売中）

令和5年1月末時点で総額690,900円の歳入で、対前年比46%の増加であった。

② スタンプカードの配布

リピーター増加対策として、レシート割引に加えスタンプカードを配布して、入館スタンプをためた来館者に記念品や餌やり体験などの特典を提供する。令和5年1月末時点で特典を受けた来館者は延1,163人で、昨年度に比べ709人増加し、リピーターが増加していることがわかった。

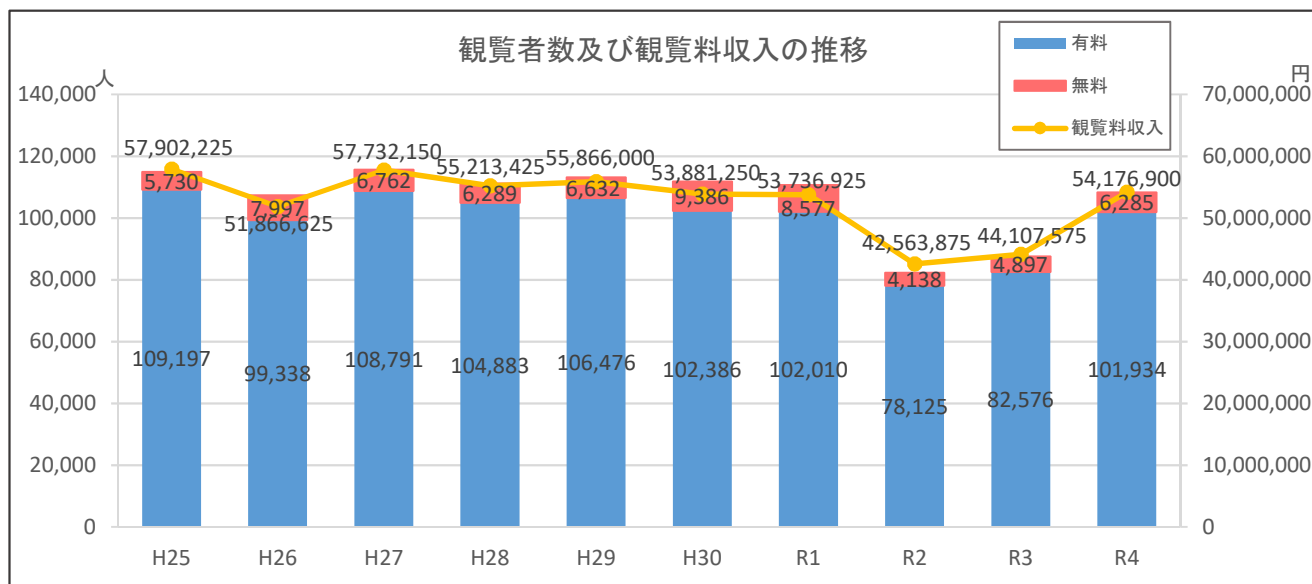
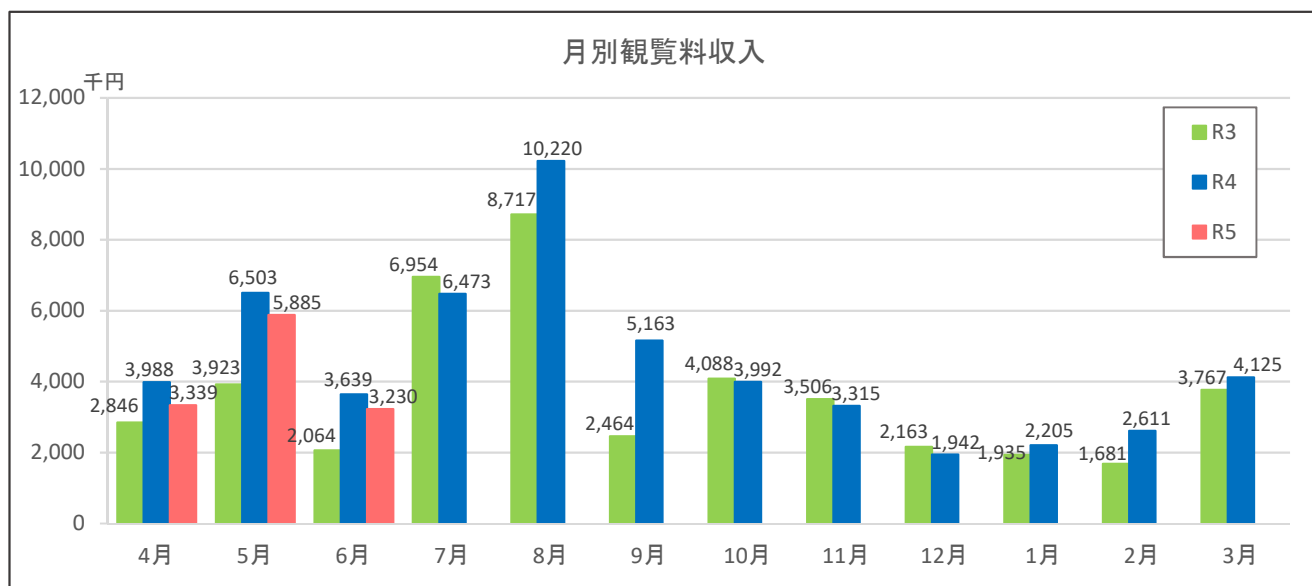
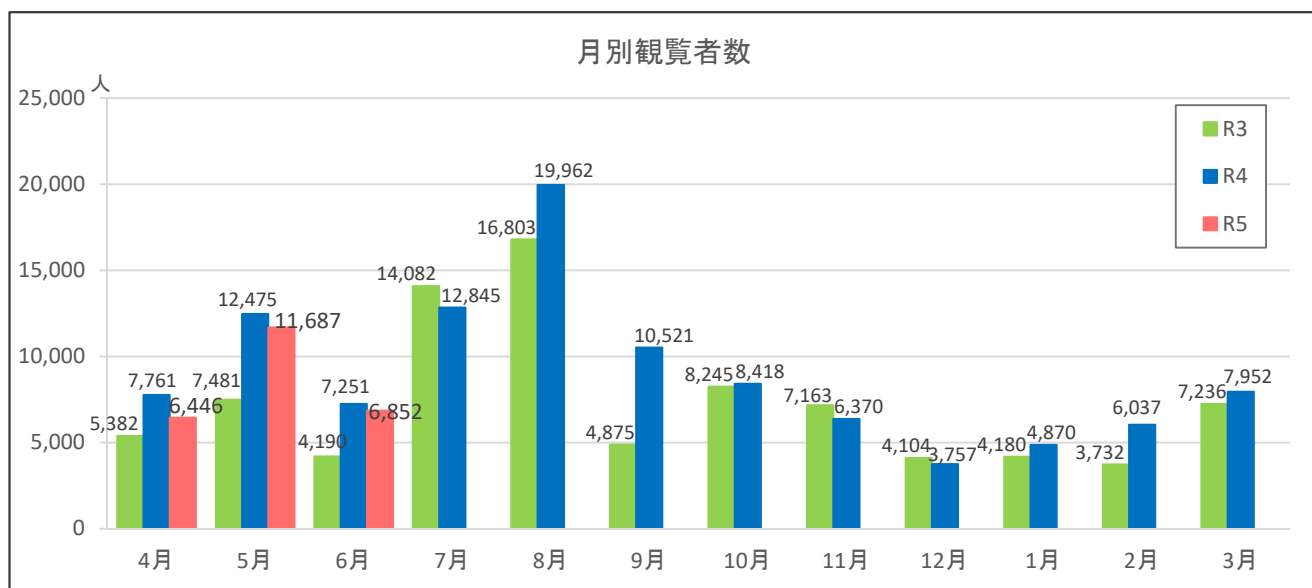
③ 水族博物館ホームページの活用

水族博物館の以前のホームページは見にくく、スマートフォンにも対応しておらず、時代遅れとなっていたことから、昨年度、ホームページをリニューアルした。新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式の実践に対応するように、館内の混雑状況を配信するとともに、水族博物館の基本情報・利用案内、SNSの活用などと併せて時代に合った魅力あるホームページとなるように運用を進めており、今年2月から公式Twitterを始め、情報発信するように取り組んだ。

6 入館状況

令和4年度の総入館者数は108,219人で、対前年比123%、20,746人の増加となっている。新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度と比較すると2.1%の減少で、ほぼ例年並みに回復した。

観覧者数及び観覧料収入の推移

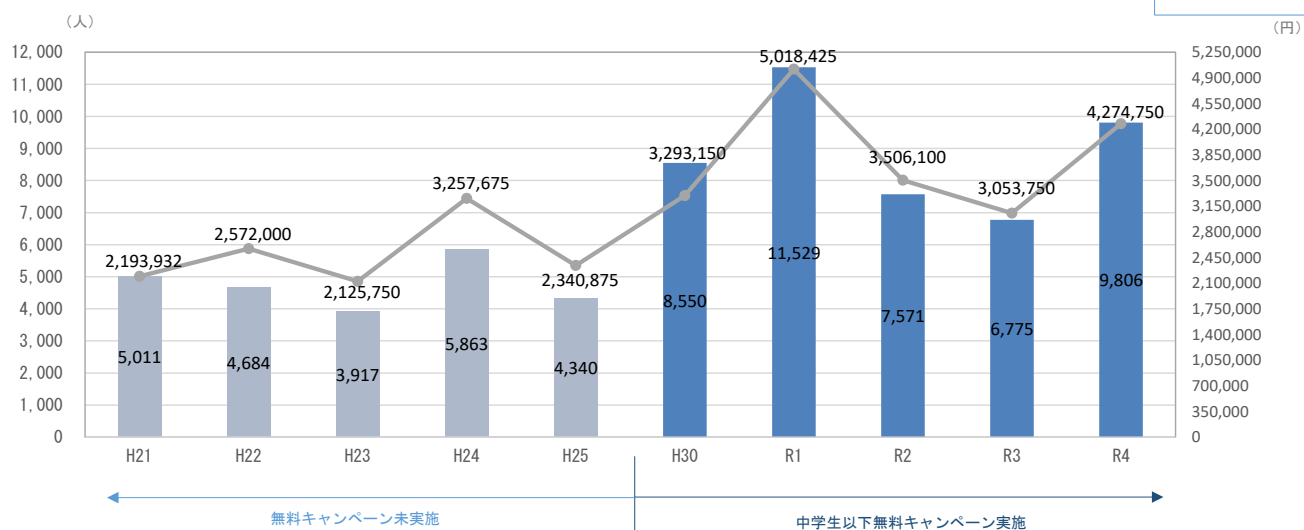


寺泊水族博物館 冬期における観覧者及び観覧料収入の状況

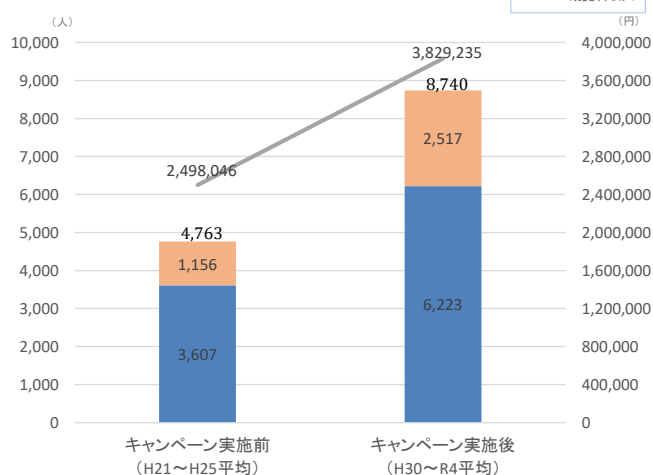
年度別観覧者数の内訳及び観覧料収入（直近5年間）

区分 年度	観覧者数（人）					観覧料収入 （円）	中学生以下無料 キャンペーン 実施期間	備 考
	一 般	中学生以下			計			
			中学生	小学生	幼 児			
H30	6,246	2,304	82	947	1,275	8,550	3,293,150	H31. 1. 12～2. 28（48日間） H31. 2. 24 天皇在位30年記念慶祝事業により無料
R1	7,845	3,684	131	1,676	1,877	11,529	5,018,425	R2. 1. 11～3. 1（52日間） 記録的な暖冬
R2	5,472	2,099	55	812	1,232	7,571	3,506,100	R3. 1. 9～2. 28（51日間） 新型コロナウイルスの流行による外出自粛
R3	4,794	1,981	83	784	1,114	6,775	3,053,750	R4. 1. 8～2. 28（52日間） 新型コロナウイルスの流行による外出自粛
R4	6,757	3,049	136	1,279	1,634	9,806	4,274,750	R5. 1. 7～2. 28（53日間）

冬期における観覧者数及び観覧料収入の推移

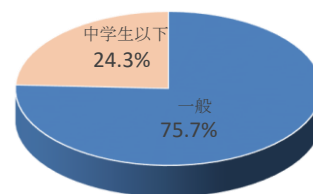


中学生以下無料キャンペーン実施前後における観覧者数及び観覧料収入（5年間の平均）



中学生以下無料キャンペーン実施前後における観覧者の構成比（5年間の平均）

【キャンペーン実施前 (H21～H25平均)】



【キャンペーン実施後 (H30～R4平均)】

